

明海大学不動産学部

# 不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第406回



川崎 優太

不動産学部4年

多くの訪れる。「こだわりを持つ層から好まれそうなカフェやレストランもあれば、コロナ禍まではサラリーマンでぎわった居酒屋もある。歴史と多様性に富む街である。」

「外国人向け日本のPR効果も多くの訪れる。「こだわりを持つ層から好まれそうなカフェやレストランもあれば、コロナ禍まではサラリーマンでぎわった居酒屋もある。歴史と多様性に富む街である。」

【学生の目】  
高さではスカイツリーに抜かれたものの優美な形状の東京タワーは今なお東京のシンボルだ。近くには芝公園や徳川家ゆかりの増上寺もある。御成門、大門近辺は東京の中でも格式の高い歴史を持つエリアだ。

【学生の目】  
【教員のコメント】

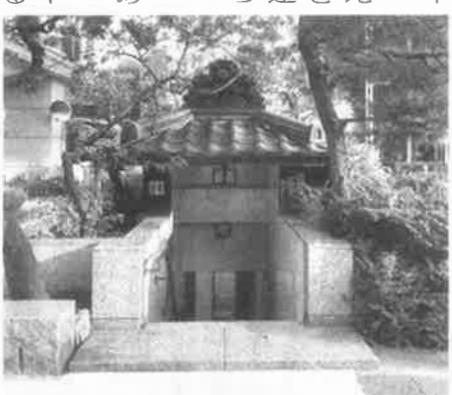
## 記念碑のような公衆トイレ

そんな街を歩く中、不思議な建物を見つけた。古風な店と勘違いする外観で、地下に入る階段も不思議さを増幅する(写真)。よく見ると青い男性と赤い女性の看板が付いていた。公衆トイレと分かるが、「港区立」という表示に安心感を覚える。

公衆トイレとは思いもしなかった理由を考えた。まず、重厚感である。渋谷区が安藤忠雄や隈研吾など、著

の外壁が目に入る。それがトイレと分かることにつながるが、ここでは外壁面はほとんど見えない。人が入れ違うに高い途中から屋根をかけているからで収まっているのは、階段の途端。だまし絵的な設計である。

更に、地下を利用する点だ。トイレは防犯や換気などのために地上に設けることが多い。一般の建物と異なり、特に女子トイレは出入りが外からも見えるようにして防犯性を高める。狭い階段を下りた地下に公衆トイレを設け



公衆トイレとは分からぬ外観

## 外国人向け日本のPR効果も

名建築家設計の公衆トイレを設置しているように、最近はモダンでおしゃれなデザインのものが多い。一

ることは想定外である。もともと、土地の有効活用の面では地下に設け

ることで歩道が広く使える。

そして、高級な使用資材だ。手摺

壁を厚くして御影石で仕上げてい

る。水が入らないよう一段高くした

入口の床、周りの植栽帯や入口脇の

屋根などの小建築物でデザインコン

ペ方式が採用される。建築物や工作物であることを消し去るかのように軽やかで宙に浮くようなデザインが多い中、土着材料を用いた重厚な造りが風土と歴史を発信している。

【教員のコメント】

公衆トイレ、交番、地下鉄入口の

木に入や物がぶつからないようブ

ロックする部分も御影石を利用して

いる。公衆トイレのイメージから程